



高知バッハカンタータフェライン 第29回演奏会

◆出演

指揮・バス：小原淨二
ソプラノ：加藤亜弥・川崎愛未
アルト：小原伸枝
カウンターテノール：上杉清仁
テノール：畠儀文・川村拓也
バス：小原一穂・小原幸季
ヴァイオリンI：須賀麻里江・大谷美佐子
ヴァイオリンII：三輪真樹・宮崎桃子
ヴィオラ：吉田篤
チェロ：西澤央子
ヴィオローネ：櫻井茂
オーボエ：菊池晃平
チェンバロ：平野智美
合唱：高知バッハカンタータフェライン

日時：2026年3月1日(日)

開場13:30 開演14:00

会場：高知市春野文化ホール ピアステージ

入場料：一般 2,500円 (当日3,000円)

学生 1,000円 (当日1,500円)

※未就学児の入場は御遠慮下さい

◆曲目

J.S.バッハ作曲
カンタータ第54番BWV54 「罪に手むかうべし」
カンタータ第124番BWV124 「わがイエスをば われは放さず」
カンタータ第131番BWV131 「深き淵より われ汝に呼ばわる、主よ」
カンタータ第196番BWV196 「主はわれらをみ心に留めたまえり」

◇主催：高知バッハカンタータフェライン

◇後援：高知新聞社・朝日新聞高知総局・毎日新聞高知支局・読売新聞高知支局・NHK高知放送局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ

◇チケット前売り：高知県民文化ホール・かるぽーと・美術館ミュージアムショップ・楽器堂オーパスイオン店・オーパスクラブ・ピアステージ

◇お問い合わせ：TEL 088-840-6864 e-mail:k-verein@hotmail.co.jp (高知バッハカンタータフェライン)



高知バッハカンタータフェライン【合唱】

1997年4月、高知大学小原淨二氏の呼びかけにより、J.S.バッハを中心とするバロック及び古典の声楽作品を研究・演奏する団体として発足。メンバーは合唱経験も年齢も多種多様だが、小原氏の指導のもと心を一つに練習に励んでいる。1998年3月の第1回演奏会以来、毎年春に演奏会を開催。バッハのカンタータ多数・ヨハネ受難曲・モテット、モンテヴェルディやシュツツ、ヘンデル等の作品を取り上げ、「土佐の地にもバッハを」の想いのもとに意欲的な活動を行う。2002年にはドイツから初来日したライプツィヒ・バロック・オーケストラと共に演し、コンサートマスターより「光を放つような素晴らしい合唱」と高い評価を得る。また、その縁から2004年夏にはドイツ演奏旅行を果たし、アイゼナハ、アイスレーベン、ライプツィヒなどバッハゆかりの地での演奏会に出演。その暖かい音色と確かな表現力は現地でも絶賛された。更に2008年(第2回)、2012年(第3回)、2016年(第4回)、ドイツ演奏旅行を重ねる。演奏会はいずれも好評を博し、現地聴衆より「これまで聴いてきたバッハの中で、最も心に響くものだった」「大変内容の濃い演奏であり、深く感動した」「ドイツ人でも難しいテキストの発音が完璧だった」などの賞賛を得た。近年は、バッハの作品を地元の教会で演奏させて頂きたいという想いから、高知市内のカトリック中島町教会、日本福音宣教会高知西福音教会、清和女子中高等学校チャペル、日本基督教団高知教会、日本基督教団土佐教会などでコンサートを行っている。そして2022年3月、初の東京公演を創立25周年記念演奏会として浜離宮朝日ホールで開催し大きな反響を得た。

小原淨二【指揮・バス】

岩手大学教育学部卒業後、東京芸術大学音楽学部声楽科に進学し首席で卒業。松田トシ賞受賞。同大学院修士課程独唱科修了。声楽を、佐々木正利、伊藤亘行、多田羅迪夫の各氏に師事。ドイツリート、オラトリオを中心に研鑽を積み、東京芸大時代には小林道夫氏のもとバッハカンタータクラブに所属し、研究・演奏を行う。その後、国内外の演奏会にソリストとして出演。1991年にはウィーン楽友協会ホールにおいて、ブラームスの「ドイツレクイエム」、また1993年にはシュトゥットガルト、ケルン、ドレスデン、ワイマール等において、フォルトナー「ヘルダーリンの詩による歌曲」を歌い好評を博す。1992年～1994年には、鈴木雅明氏が音楽監督を務めるバッハ・コレギウム・ジャパンのコーラスマスター及びソリストとして活躍。その他、東京ソリスト合奏団、水戸バッハコレギウム、茨城大学混声合唱団などの指揮や指導を歴任。1994年～1995年ドイツ留学し、H.クレッチマー氏に師事。留学中も積極的に演奏活動を行い、特に、ミュンヘン、ヘラクレスホールにおけるニュルンベルク交響楽団定期公演、J.ツィルヒ指揮、ハイドン「天地創造」バスソロなどは、現地新聞紙上において絶賛される。帰国後も全国各地に招かれソロ活動を行い、宗教音楽の世界的名指揮者である、H.J.ロッチュ、G.Ch.ビラー等との共演や、新日本フィルハーモニー交響楽団定期公演における、G.ボッセとの共演のほか、関西フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢、紀尾井シンフォニエッタ東京、スウェーデン放送合唱団との共演などで高い評価を得ている。1997年、高知バッハカンタータフェラインの創設に携わり、以降指揮者として指導にあたっている。高知大学教育学部教授。

